

グラスウール製品を安全に お使いいただくための



硝子纖維協会



まえがき

本Q&Aはグラスウール製品を安全にお使い頂けるよう、注意を喚起するために作成しました。

住宅や事務所ビル、体育館、工場、冷凍倉庫、低温倉庫などの建築物の断熱・吸音に、空調設備機器、ダクトや配管など周辺部材の保温・保冷に、さらに船舶や車両などの断熱・保温・吸音に、また新幹線や高速道路などに多量のグラスウールが使われています。今までにグラスウール製品を使い慣れておられる方も、これからお使いになる方も、作業にかかる前にぜひご一読ください。

- また、これからお使いの方は、グラスウール製品をご使用の前に、安全データシート(SDS)をご確認の上、リスクアセスメントを実施ください。

取扱い上的一般的な注意事項

Q1

グラスウール製品を取扱うときには、 どんな注意が必要ですか？



- ガラス粉じんが目や口に入ったり、皮膚と接触したり、衣服に付着したりすると、炎症等を引き起こすことがあります。長袖で袖口がしまり、かつゅつたりした衣服、防じんマスク、帽子またはヘルメット、保護手袋、保護眼鏡を着用してください。

A1.

グラスウール製品に触ると皮膚、目、喉や鼻などに一時的にかゆみや痛みを引き起こすことがあります。作業をするときは、長袖で袖口がしまり、かつゅつたりしたシャツや長ズボン、帽子またはヘルメット、保護手袋などを使用し、全身を覆う服装で作業してください。特に上向きで作業するときは、目にガラス粉じんが入らないよう、ゴーグルか保護眼鏡を使用し、帽子またはヘルメットを着用してください。目にガラス粉じん等が入った場合は清水または温水で十分洗い流し、異物感が残るときは速やかに眼科医の診察を受けてください。飛散するガラス粉じんを吸入しないよう防じんマスクをぴったりと正しく装着して使用してください。ガラス粉じんを吸入した場合、水でうがいをし、鼻をかんでください。皮膚に付着した繊維は、温水と刺激性のない石鹼を使って、強くこすらずにそっと洗い流してください。作業着手前にハンドクリームを塗布するのも効果的です。かゆみ、痛みが続くときは、医者の診察を受けて指示に従ってください。作業時に着用し、ガラス粉じんが付着した衣類は、他の衣類と分けて洗濯し、洗濯槽はきれいに洗い流した後、よく拭いてください。

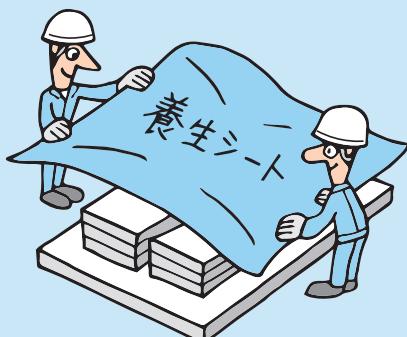
貯蔵・保管

Q2

グラスウール製品の貯蔵・保管には どんな注意が必要ですか？



- 梱包製品への上乗り作業は危険です。段ボールケースやポリ袋の包装製品がつぶれたり、崩れたりして大けがをすることがあります。
- 水濡れは厳禁です！



A2.

グラスウール製品は室内に保管してください。短期的に屋外で保管する場合は、雨水に濡らさないように水を通さない養生用のシートを掛けて保管してください。濡れたグラスウール製品の使用は、断熱効果の低下、結露発生、木材腐朽、金属の腐食の原因ともなりますので使用しないでください。貯蔵時は凸凹な面は避け、できるだけ水平な面に貯蔵してください。製品の取扱いはていねいにして、製品を傷めないようにしてください。

Q3.

施工時のグラスウール製品の残材や廃材は どのようにして処分したらよいですか？



- 切断した場合の切り屑は、速やかに袋に入れるなど、ガラス粉じんの飛散に注意してください。
- 廃棄くずは、産業廃棄物として処理してください。

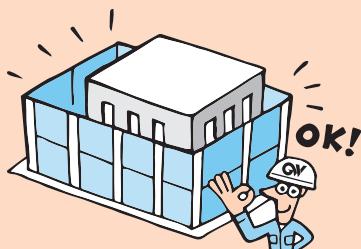
A3.

施工時のグラスウール製品の残材や廃材は、直ちにポリ袋などに入れて密閉し、ガラス粉じんが飛散しないようにしてください。作業後の現場の清掃には、粉じんが舞い上がらない真空クリーナーの使用が最適です。

袋詰めした廃材は、関連法規並びに地方自治体の基準に従って処分ください。都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行なっている場合にはそこに委託ください。メーカーによっては、残材や廃材を回収し、リサイクルを行なっています。詳細はメーカーにお問い合わせください。

Q4.

グラスウール製品の解体・除去作業を行うときに はどんな点に注意すればよいですか？



- ガラス粉じんを飛散させないでください。

A4.

グラスウール製品の解体・除去作業を行なう場所からガラス粉じんを飛散させないように、隙間ができないように作業場をシート等で囲って作業してください。

Q5.

グラスウール製品の切断加工には どんな工具が適していますか？



- 切断する場合は、カッターナイフ等の手動工具を用い、ガラス粉じんが飛散しないように注意してください。
- 電動工具による切断加工時は集じん装置が必要です。

A5.

グラスウール製品の切断加工にはガラス粉じん発生の少ないカッターナイフなどの手動工具を使用し、ガラス粉じん発生の多い電動工具は使用しないでください。

グラスウール製品を多量に加工する工場で、電動工具を使って切断加工するときは、ガラス粉じんが飛散しないよう集じん装置を使用してください。

施工・解体

Q6.

床用グラスウール断熱材の上で作業できますか？



- 床用グラスウール断熱材の踏抜きは危険です。
施工中は足元に注意してください。

A6.

グラスウール製品は、人を支える程の強度はありません。けがをする危険性がありますので、床施工時は踏み抜かないように注意してください。

防火

Q7.

グラスウール製品の断熱工事、取り扱いで 防火上注意すべき点はどんなことでしょうか？



- 裸火、溶接・溶断の火花、その他の火源を近づけないでください。



A7.

一般に知られているように、グラスウールは無機質の繊維で造られており、グラスウール板は不燃材料として認定されていますが、いろいろな目的で使われるため、全体またはその表面にプラスチックフィルム(ポリエチレンフィルム、塩ビフィルム等)やアルミ箔クラフト紙などの種々の外被材が貼られたり、外被材で包んだりしています。これらの外被材の中には燃えるものもありますので、裸火、溶接・溶断の火花、その他の火源に近づけないようにしてください。また、配線の漏電にもご注意ください。

用途

Q8.

グラスウール製品はどんな用途に 使われるのでしょうか？



- 決められた用途以外の利用時は、メーカーにご相談ください。

A8.

グラスウール製品は住宅・建築物の断熱・吸音、機械室の吸音、暖冷房・空調設備・温冷水配管等の保溫・保冷など幅広い用途で利用されています。それぞれの用途に適した製品が選択されて使われていますが、カタログに記載された用途以外の目的でグラスウール製品を使用する時は、メーカーにご相談ください。

グラスウール断熱材

 硝子纖維協会

〒169-0073 東京都新宿区百人町3丁目21番16号 日本ガラス工業センタービル2階

TEL:03-5937-5763 FAX:03-5389-6757

<http://www.glass-fiber.net/>